

資格挑戦の年

第2期 OG 福田 恭子

また今年もエッセイの依頼をいただいていたのですが、大した文章も書けないのにと恐縮しつつも、なかなか近況報告の機会もないので、2008年を振り返ってみたいと思います。

一年前の2008年元日に私はひとつの目標を立てました。それは、「中小企業診断士の資格を取得する」というものです。「中小企業診断士」という名前に聞き覚えのない方も多いと思いますが、これは中小企業へのコンサルティングの国家資格のことです。1次試験・2次試験が行われ、1年で合格する確率は1%程度と言われる厳しい試験です。試験内容は、1次試験では、企業経営理論や財務会計、法務等7科目の知識をマークシート形式で問われ、2次試験では、1次試験の知識を基に、4つの事例企業について、現状の問題点、今後の戦略の方向性のアドバイス等に関する問題を筆記形式で解きます。筆記試験に合格すれば、口述試験を受けて終わりです。この資格の勉強をしようと思ったきっかけは、「今しか勉強出来ない」という上司の一言でした。これから会社生活を続けていけば、仕事はもっと忙しくなっていくだろうし、特に女性にとっては、結婚・出産等、家庭での役割も大きくなっていきます。もちろん、そんな状況の中で、資格勉強をしている方はたくさんいらっしゃると思いますが、思いっきり出来るのは、今しかないと思いました。また、その上司が資格取得に必要な支援はいくらでもすると行ってくれたため、業務に必要な知識も学べるため、以前から興味があった、中小企業診断士資格取得を目指すことにしました。

そんなこんなで、1月に予備校に通い始めましたが、勉強は予想以上に大変でした。休日のほか、平日も通勤時間と早起きして出勤前の1時間を使ってやりました。しかし、仕事が忙しくタクシー帰りの日もある中でやるのは、体力的にも精神的にもきついものでした。それでも、勉強を始めたのが人よりも遅かったため、学習時間確保のため、空き時間を見つければ、全て勉強に充てました。そんな状態だったので、予備校通いと勉強しかせず、様々なことを犠牲にしてみました。

こうして、約1年に渡り、仕事と勉強の両立を続けました。途中、突発性難聴の病気にかかり、病院通いをしながら勉強するなど、試練は色々ありましたが、何とか12月24日に、合格の知らせを受けることが出来ました。お正月に立てた目標を達成できて、今は本当にほっとしています。大変でも、仕事だけでは得られない知識が自分の中に蓄積されて行くのが感じられて、楽しいと思えることもありました。何かしようと思ってもなかなか行動に移せなかった時に比べて、充実した日々を過ごせて、良い1年だったと思います。というわけで、2008年を振り返ってみましたが、文章にしてみると大したことなさそうですね。文章力なくてすいません。

最後に、ゼミ生の方々へ。このエッセイを読まれるのは、新年も1ヶ月を過ぎている頃だと思いますが、是非2009年の目標を具体的に思い浮かべてください。目標は、プライベートの事でも何でも良いと思います。偉そうに書きましたが、私も2008年になって初めて実践したばかりで、今年は2年目です。新たな目標はどうしようかと考えているところですが、とりあえず年明けに、診断士登録前の研修が始まるため、研修修了を直近の目標にしたいと思います。皆さんも是非頑張ってください！